



中心市街地活性化プラットフォーム・オンラインセミナー 公民連携によるエリア再生のリアル

～紫波町の公民連携による商店街再生や学校跡地活用～

内閣府と協定を締結し、先進的なまちづくりに取り組む紫波町（岩手県）は、オガールプロジェクトだけでなく、公民連携による商店街の再生や学校跡地の活用などにおいても成果を上げている自治体です。本セミナーは、紫波町の実践から、公民連携によるエリア再生についてじっくり聞ける機会です。質疑の時間も十分にあるので、具体的な取組とそのプロセスに触れたい方は、ぜひご参加ください。



※背景写真:オガールエリア / 枠内写真:左から 日詰商店街、ノウルガーデン

2026年7月22日 水 10:00-11:30

参加費無料



開催方法

Microsoft teams

対象

地方自治体関係者、まちづくり関係者、
中心市街地活性化に関心のある方 等

申込方法

聞きたいことも事前に教えてください！

<https://form.cao.go.jp/chiiki/opinion-0430.html>

上記URL・二次元コードよりお申し込みください。

プログラム

1 開会・挨拶(10:00～)

内閣府地方創生推進事務局

2 発表(10:05～)

・川村 浩平 氏（紫波町地域づくり課）
『公民連携によるエリア再生のリアル』

3 質疑・意見交換(10:45～)【45分】

チャットまたは挙手機能を利用して質疑・意見交換。
申込時に事前質問も受付。

4 閉会

紫波町の取組

- 紫波町（岩手県）は、公民連携によるまちづくりの先進事例としての注目。行政・民間・町民が連携し、地域資源を活かした持続可能な地域づくりの推進。
- 先駆けである「オガールプロジェクト」では、駅前未利用地に民間の投資や運営ノウハウを導入し、にぎわい創出と地域経済の循環を実現。
- 商店街では空き店舗を活用したリノベーションまちづくりを通じ、10年間で約30件の成果が生まれ、にぎわいが再生。
- 学校跡地の活用では、令和3、4年の廃校から5年以内に7校のうち6校について公募から公民連携での活用が決定し、産業振興や人材育成の場として事業展開。

発表者

川村 浩平氏（紫波町地域づくり課 主任）

平成26年紫波町役場に入庁。農政課、企画課、商工観光課、（一財）地域総合整備財団出向を経て、現職。公民連携を軸に、商店街再生や学校跡地を活かした産業振興・人材育成等、地域資源を生かした持続可能なまちづくりに取り組んでいる。



お問い合わせ先

内閣府地方創生推進事務局 中心市街地活性化担当

☎ 03-5510-2338

✉ g.chukatsu@cao.go.jp